

## 新得発電所建設に伴う学習会の開催および産業遺産設置地点検討事業

### 1. 補助事業の目的

新得発電所建設計画の促進を目的に、地域住民向けの学習会・視察会を開催するとともに、同発電所建設に伴い撤去する既設発電所の水車を、産業遺産として展示・保存するための設置地点検討を行う。

### 2. 補助事業の概要

#### (1) 事業者名

北海道電力株式会社

#### (2) 事業期間

令和2年8月31日 ～ 令和3年3月1日

#### (3) 対象地域

北海道上川郡新得町

#### (4) 対象地域の状況

新得町は、北海道十勝管内に位置し、日高山脈、大雪山系の山々からなる森林が町域の90%を占める「林業の町」である。また、その水系を活用した7つの水力発電所（出力合計135,270kW）が所在する「電源の町」である。

新得発電所の水系・十勝川は、同町の大雪山連峰十勝岳に源を発し、十勝管内帯広市等を経過し太平洋に注ぐ流路延長156kmの一級河川である。十勝川流域には、多くの温泉地、整備された公園・運動場があり、北海道最大級の花火大会や、十勝ダムを始めとする多くのダム湖が演出する雄大な四季の景観が、温泉地と共に地域の活性化と北海道観光の一翼を担う重要な資源となっている。

#### (5) 対象発電所

水系・河川名	十勝川水系・十勝川
発電所名	新得発電所
事業者	北海道電力株式会社
出力	23,100kW

### 3. これまでの取り組み状況と課題

新得発電所の建設計画について、平成31年4月の着工まで複数年にわたり地元自治体、自治会等関係者への説明・理解促進を図ってきた。その中で、関係者から次の課題が提起された。

- ・地域住民の理解醸成に努めるため、事業者自ら「地域住民向け学習会」を開催するよう要望があった。
- ・長きに亘り発電事業を支えた地域の取組を後世に遺すとともに、水力発電施設を観光施設として活用するため「発電所建設に伴い撤去する既設発電所の水車を産業遺産として展示・保存」するよう要望があった。

新得発電所周辺は自然環境が豊かな地域であり、その保全についても高い関心が寄せられていることから、建設計画を推進するために、地域からの理解の維持に着実に取り組んで行く必要がある。

### 4. 実施概要

#### (1) 学習会・視察会の開催（地域理解促進）

水力発電所の仕組みや新得発電所建設計画に関する学習会、建設中新得発電所および平成28年1月に運転開始した水力発電所の視察会を実施した。（地域住民56名参加）



#### (2) 産業遺産設置地点検討（地域環境整備）

新得発電所の新設に伴い撤去する既設発電所の水車を産業遺産として展示・保存するための設置地点について、自治体、自治会、商工観光業者等関係者へのヒアリング、候補地選定、開発イメージプランの検討および諸課題の整理を実施した。



### 5. 得られた効果

次のとおり、新得発電所建設計画の推進に資する効果を得ることができた。

#### (1) 学習会・視察会の開催

アンケートの結果、水力発電への理解が深まったとの回答が7割超、また学習会・視察会全体に関して満足したとの回答が9割超となり、新得発電所建設に関する理解促進を図ることができた。

#### (2) 産業遺産設置地点検討

関係者へのヒアリングで得た地域ニーズを踏まえつつ、複数の候補地を客観的に評価することで、設置効果を期待できる有力地点、開発イメージについて、自治体等と共通認識を持つことができた。